

強化、倍強度製品

強化、倍強化ガラス共通

タフライト、スクールタフライト、スクールタフライトアクティブ、HS200、セラシルエ、ミストペンスーパー

●設計・施工上のご注意

- ご採用にあたっては、耐風圧強度などをご検討のうえ、ガラス品種・呼び厚さ・面積を決定してください。
- 製造後は切断、穴あけ、面取りなどの加工ができませんので、寸法および形状は正確にご注文ください。切り欠きや、穴あけを施したHS 200は外装には使用できません。
- 製造時、熱処理をしていますので、熱処理をしていない一般の板ガラスに比べ、反射映像が乱れますのでご了承ください。
- 熱処理を施していますので、熱処理をしていないガラスに比べて、透過光の若干のムラが観察される場合がありますので、ご了承ください(薄い汚れが付着しているように見えます)。特に熱線反射ガラス、高性能熱線反射ガラスの場合や、背景に建物等がなく空が見える場合などに、ムラがより強調されて見えやすくなります。
- 生産上の部分的な温度差の影響で、筋状、または斑状に模様が見える場合があります。
- 硬いものなどの衝撃により深いキズがつくと破損することがあります。その場合すぐには割れずある時間の経過後に破損することがあります。
- 万一の破損による落下事故を考慮し、垂直使用の場合、呼び厚さ5ミリ以下の強化ガラスは地上または床面からの高さ16m以下、6ミリ以上の強化ガラスは高さ3m以下でご使用ください。これを超える高さに強化ガラスを使用する場合は、万一の破損時に有効な強化合わせガラスのご採用をお奨めいたします。飛散防止フィルムの場合は、脱落防止上、適切な貼り付けおよび貼り替え方法など注意が必要となりますので、フィルムメーカーにご確認ください。
- 特性上、万一の破損時には全面破砕し、脱落することがありますので、ベランダの腰板、トップライトなど、破損時に脱落が許されない場所でのご使用はお避けください。
- エッジまたはコーナー部分に硬いものなどを当てると破損することがありますのでご注意ください。
- 万一の落下防止措置に関しては、P.9「強化ガラスを安全にお使いいただくために」にしたがってご使用ください。

●使用・メンテナンス上のご注意

- フロート板ガラスと比べて表面硬度が若干低いため、クリーニングの際、金属スキージーはキズの原因になりますので、ご使用はお避けください。また、スキージーを使用する場合は、裏面の金具がガラス面に当たらないようご注意ください。

個別

セラシルエ

●設計・施工上のご注意

- 屋外面に使用の場合、印刷面は室内側にしてご使用ください。印刷面を室外側にした使用はできません。
- セラミック印刷は片面印刷です。両面印刷はできません。
- ブレン仕様を透過光でご使用の場合、カラーにより色ムラが生じることがありますので事前にご確認ください。

真空ガラス

複層ガラス

学校用ガラス

防火ガラス

防犯ガラス

強化ガラス・倍強度

合わせガラス

特殊機能ガラス

高透過ガラス

熱吸・熱線反射ガラス

板ガラス

装飾ガラス

カラーガラス

板ガラス応用製品及び施工法

設計・施工上のご注意

ガラスの光学的性能・熱的性能

製品一覧